

ハイタカ（タカ科） 全長 オス32cm、メス39cm

なんと、我が家の庭木にハイタカが現れました。

窓越しに見るその距離、わずか4~5メートルほど。ハイタカは、餌台に群がるスズメを狙って近寄ってきたのでしょう。カメラを構える私を見ているはずですが、動ずる様子もなく悠然としたもの。警戒心の強い猛禽類を、こんな近くで見られるとは感動ものです。



鋭い目つきでスズメを狙う。足指は細長い。

毎年12月、小鳥類の餌不足を少しでも助けてあげようと思い餌台を設置してきたが、ハイタカの目に止まり格好の狩場となってしまったようです。

毎朝、数十羽から百羽近いスズメが集まる餌台は、デパートのバーゲンセールもどきの混雑ぶり。チュンチュン、ガヤガヤと食事中、突然バババツと羽音をたて飛び去るものと、雪囲いの中に逃げ込むもので、あっという間に姿を消してしまった。ハイタカが現れたのです。



雪囲いの上から、鋭い眼光で周囲を見渡す。



じっと下を向き、スズメの動向を探る。

ハイタカは杭の上に陣取り、雪囲いの中に逃げ込んだスズメの動向を探っています。スズメはここにいる限り安全だろうと思っていたが、ハイタカは僅かなすき間からクチバシや細長い足指を囲いの中に刺し込むなどして、1羽のスズメを引っ張り出したのです。



罿いの中に逃げ込んだスズメを引っ張り出した。



尾羽を広げてウォーミングアップ。

こうした狩りは、3年程前から何回か繰り返されて来ました。スズメの為にと思い作った餌台であったが、とんだ災難に合わせてしまったと考え込んでしまいます。

しかし、ハイタカは餌台がなくとも大自然の中で小鳥たちを狩り、食物連鎖の中で生き延びていることでしょう。

生態系のバランスを崩さないささやかな餌台設置として、このまま春まで続けたいと思っています。